

### 1. 授業のねらい・概要

高等学校の商業科教育免許状を取得することを希望する学生に対して授業を行う。

高等学校学習指導要領商業編に基き各科目の年間指導計画、学習指導案の作成、そして模擬授業をとおして商業科教員としての指導技術を学ぶ。また、我が国における商業教育の課題を取り上げ、今後を展望する。

### 2. 授業の進め方

基本的には、講義形式を中心とするが、学生による調査・研究の報告、模擬授業なども取り入れていく。

### 3. 授業計画

1. 教育課程編成と年間指導計画の作成	8. 模擬授業と授業研究 (1) 基礎的科目「ビジネス基礎」
2. 学習指導の諸形態とその方法	9. 模擬授業と授業研究 (2) マーケティング分野「マーケティング」
3. 評価の観点と評価規準	10. 模擬授業と授業研究 (3) 会計分野「簿記」
4. 学習指導案の作成 (1) 基礎的科目「ビジネス基礎」	11. 模擬授業と授業研究 (4) ビジネス情報分野「情報処理」
5. 学習指導案の作成 (2) マーケティング分野「マーケティング」	12. 商業教育とキャリア教育・進路指導
6. 学習指導案の作成 (3) 会計分野「簿記」	13. 商業教育と特別活動・生徒指導
7. 学習指導案の作成 (4) ビジネス情報分野「情報処理」	14. 商業科教員としての資質・能力
	15. 商業教育の課題と展望

### 4. 到達目標

- (1) 生徒の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。
- (2) 教科「商業」の学習評価の考え方を理解している。
- (3) 教科「商業」の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。
- (4) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。
- (5) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。
- (6) 教科「商業」における実践研究の動向を知り、授業設計の向上に取り組むことができる。
- (7) 商業教育を指導する教員としてふさわしい資質・能力を身に付けている。

### 5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

準備学習としては、講義の前に教科書を読んでもらうこと。事後学習としては、教科書にある課題や指示された課題を完成すること。学習指導案の作成にあたっては事前に、模擬授業の事後にまとめの時間が必要となる。

## 6. 成績評価の方法・基準

定期試験（50%）、授業内での課題・レポート（50%）

## 7. テキスト・参考文献

『教職必修 最新商業科教育法 新訂版』日本商業教育学会編著 実教出版 平成23年

『高等学校学習指導要領解説 商業編』文部科学省 実教出版 平成22年5月

高校で使用中の教科書及び各検定試験問題

## 8. 受講上の留意事項

毎回内容を積み重ねていく講義なので、欠席をしないようにすること。また、商業科教育法Aの単位修得者のみが商業科教育法Bを履修することができる。